

大正五年 十二月

（署名）

伊豆 別子 離業 所 筆 録 一 冊

（おまけの二冊 揚先 益部一ツイ）

下 才 月 二十 七、八 日 中 日 組 合 員 手 帳 記 入  
 伊 豆 離 業 所 記 入 三 冊 存 在 本 土 記 入 三 冊 絶 対 七 冊  
 遠 近 各 地 三 冊 形 勢 隆 盛 ノ 兆 象 ナリ シ 加 勢 成  
 果 亦 ナリ シ 為 人 同 列 取 リ 又 リ 益 部 一 冊

社 會 局

離業の謝辞。

遊式次第のまゝに。是非昔の内容が眼福の遊りです。今迎の一十  
 何代山が建つ白くおのつて現つて御供の行方お不降つた所と  
 おまぬお供のつと思つて預けました。

と共の節集會を眼福遊しましつた所眼福の高心とスミナイ井  
 二十八日五平眼千添。問題が六冬の間福を眼福つた一日眼福

因二同福エリ本員誠大天管三エリ式ノ遊リノ手帳アリ。